

## 令和7年度 アオコ情報（河川 No. 1）

7月3日に実施した調査の結果についてお知らせします。

- フィコシアニン濃度<sup>※1</sup>は、新川、備前川及び土浦沖合がアオコレベルで0相当<sup>※2</sup>でした。

### 新川、備前川及び土浦沖合のアオコレベル

<新川>

- ・ 神天橋、新港橋及び新川河口沖でアオコレベル0相当(フィコシアニン濃度:< 5~35 µg/L)でした。

<備前川>

- ・ 岩田橋、竹中橋及び備前川河口沖でアオコレベル0相当(フィコシアニン濃度:9~19 µg/L)でした。

<土浦沖合>

- ・ 土浦沖合①及び土浦沖合②でアオコレベル0相当(フィコシアニン濃度:14~18 µg/L)でした。

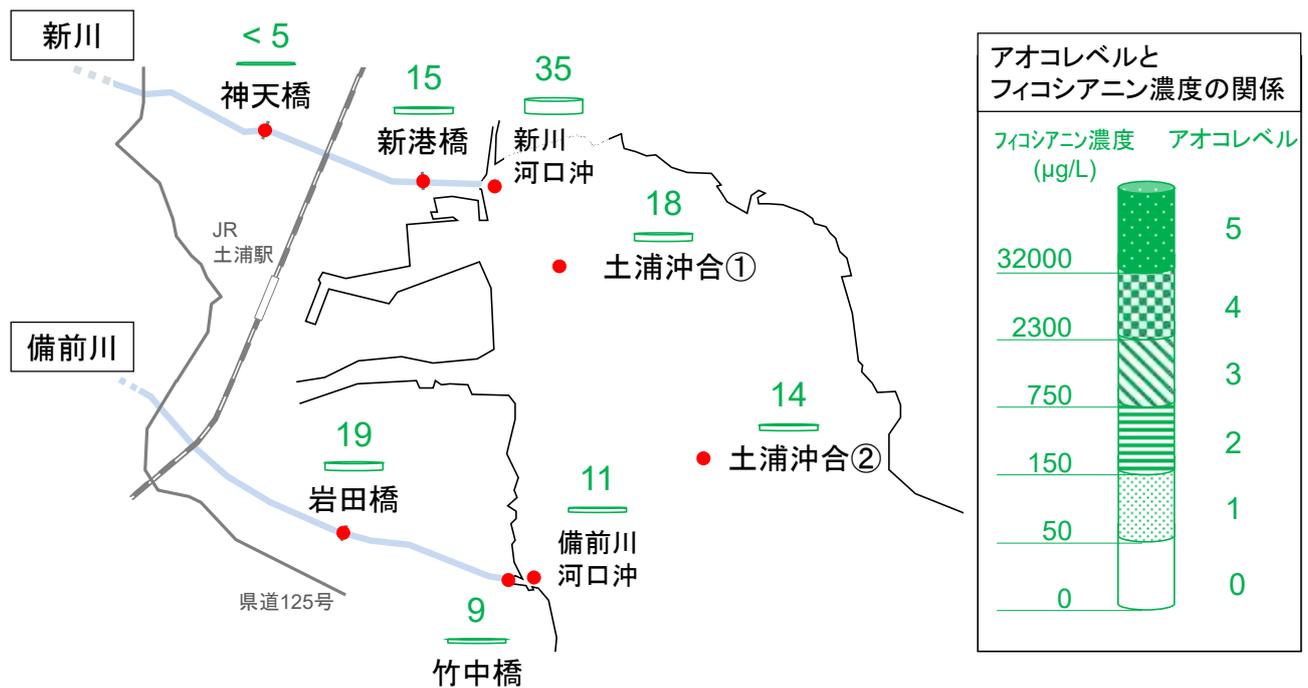


図1 フィコシアニン濃度の分布

※1 フィコシアニン

アオコの原因となる植物プランクトン（藍藻類）に含まれている色素です。フィコシアニン濃度はアオコの現存量と一定の相関があるため、アオコ現存量の目安になると考えられています。

※2 アオコレベル

アオコの発生状況を視覚的に把握するための指標です（参考：国土交通省霞ヶ浦河川事務所 HP: <http://www.ktr.mlit.go.jp/kasumi/kasumi00313.html>）。フィコシアニン濃度は、アオコレベル1で50 µg/L程度、アオコレベル2で150 µg/L程度、アオコレベル3で750 µg/L程度、アオコレベル4で2300 µg/L程度、アオコレベル5で32000 µg/L程度です（小日向ら, 2012）。各レベルの写真は、別紙に掲載しています。

● 調査結果の詳細

表 調査結果

	新 川			備前川			土浦沖合	
	神天橋	新港橋	河口沖	岩田橋	竹中橋	河口沖	①	②
採水時刻	7月3日							
	10:30	11:15	14:50	11:45	11:57	14:20	14:37	14:26
水温(°C)	29.9	30.1	31.1	31.0	32.5	31.2	31.2	30.7
pH	7.0	7.3	8.4	8.1	8.4	8.2	8.5	8.4
EC (mS/m) ※	-	-	31.9	16.7	-	25.7	28.5	27.9
透視度 (cm)	42	40	13	20	29	23	31	32
フィコシアニン (µg/L)	<5	15	35	19	9	11	18	14
クロロフィルa (µg/L)	29	54	75	122	55	34	40	31

※ 「-」は機器不調により欠測

● (参考) アオコレベル

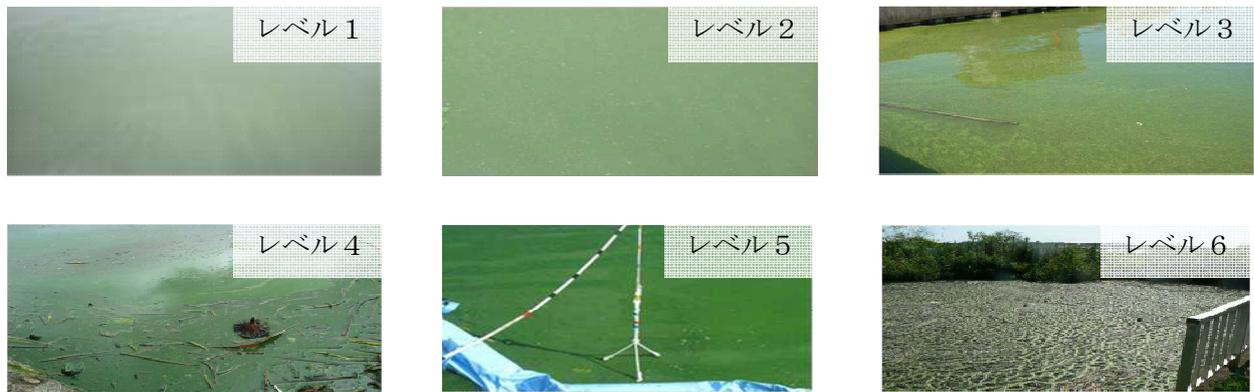


図2 アオコレベル